2023.5.13 GEWANDHAUS 龍ヶ崎ゲヴァントハウス【オリジナルCDコンサート】

これが聴きたい！ リクエスト特集

プログラム

今回は“これが聴きたい！”というリクエストがありましたので、これにお答えしてのリクエスト特集です。今年は20世紀最高のソプラノ歌手と言われる**マリア・カラス**の**生誕100年**に当たります。1974年10月、カラスはテノールのステファノと来日し、ジョイント・コンサートを行いました。すでに絶頂期は過ぎていたとはいえ、圧倒的な存在感で魅了しました。マリア・カラスは1923年12月3日、ギリシャ系移民の子として、アメリカ、ニューヨークで生まれました。少女時代をアメリカで過ごした後、1937年に故郷ギリシャに帰り、アテネ音楽院でヒダルゴに師事、14歳の時に「カヴァレリア・ルスティカーナ」でオペラの初舞台に立ち、1947年、ヴェローナ・アレーナ音楽祭でポンキエルリの「ラ・ジョコンダ」の主役を歌ってイタリア・オペラ界に登場すると、一大センセーション巻き起こしました。以降十数年にわたってオペラ界の一時代を築き上げた功績は計り知れません。決して美声ではありませんでしたが、音楽の中に隠されたドラマと感情を引き出す能力は類い稀な存在でした。今日は1974年の来日公演からお聴きください。
ショスタコーヴィチの**ヴァイオリン協奏曲第1番**は、緩ー急ー緩ー急の全4楽章構成で、バロック時代の形式を模範とした20世紀を代表するヴァイオリン協奏曲のひとつです。**エルガー**の美しい小品**「ため息」**。**チャイコフスキー**の**「マンフレッド交響曲」**は、バイロンの劇詩をドラマティックに描いた名曲です。（中川）

＊＊＊＊＊＊＊

ジュゼッペ・ヴェルディ（1813～1901）：
歌劇“シチリア島の夕べの祈り”
第2幕～二重唱“天使のようなあなたの両の目から”

ジョルジュ・ビゼー（1838～1875）：
歌劇“カルメン”第1幕～ハバネラ“恋は野の鳥”

ピエロ・マスカーニ（1838～1875）：
歌劇“カヴァレリア・ルスティカーナ”～“ママも知るとおり”

ジャコモ・プッチーニ（1858～1924）：
歌劇“ジャンニ・スキッキ”～わたしのお父さん
マリア・カラス（ソプラノ）/ジュゼッペ・ディ・ステファノ（テノール）
ロバート・サザーランド（ピアノ）
（1974.10.19　NHKホールでのLive）

ディミトリ・ショスタコーヴィチ（1906～1975）：
ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調Op.77
ヴィクトリア・ムローヴァ（ヴァイオリン）
ヴォルフガング・サヴァリッシュ指揮ウィーン交響楽団
（2001.4.4　ウィーン・ムジークフェラインザールでのLive）

＊＊＊ 休 憩 ＊＊＊

エドワード・エルガー（1857～1949）：
ため息Op.70（弦楽合奏、ハープ、オルガンのための）
サカリ・オラモ指揮ＢＢＣ交響楽団
（2019.9.14　ロイヤル・アルバートホールでのLive）

ピョートル・チャイコフスキー（1840～1893）：
マンフレッド交響曲Op.58（原典版）
エフゲニー・スヴェトラーノフ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
（1989.3.5　ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive）

★ホームページアドレス　http://gewandhaus.sakura.ne.jp/wp/

曲　目　解　説

ヴェルディ：歌劇“シチリア島の夕べの祈り”

ワーグナーと並ぶ19世紀最大のオペラ作曲家ヴェルディは、生涯30曲以上のオペラを残しましたが、「シチリア島の夕べの祈り」は5幕のオペラで1855年に完成、同じ年の6月13日パリのオペラ座で初演され大成功を収めました。シチリア島のパレルモでフランスの支配から独立しようとして戦うエレナ公女と青年アリーゴの恋と戦いの悲劇を描いていますが、**「天使のようなあなたの両の目から」**は第2幕でアリーゴがエレナに求愛する場面で歌われる二重唱です。随所に聴きどころを持つ名作にもかかわらず、たびたび演奏されるのは有名な序曲だけで、上演されることはほとんどないのが残念です。

ビゼー：歌劇“カルメン”

37歳という若さでこの世を去ったフランスの天才作曲家ビゼーの最も有名な歌劇「カルメン」は1874年に作曲され、翌1875年3月にパリで初演。しかし、大きな評判にはならず、3ヶ月後にビゼーは永眠しました。死後多くの上演を重ね人気が上昇、今日では傑作オペラのひとつとして絶大な人気を誇っています。メリメの小説を基にした4幕のオペラで、物語の舞台はスペインのセヴィリヤの町。「自由奔放なジプシーの女カルメンに魅せられた竜騎兵ドン・ホセは、彼女のために密輸入者の仲間に加わったりしますが、カルメンの心は闘牛士エスカミリオに移り、ホセの心情を無視する。激怒と絶望の果て、ホセは逃げるカルメンを追って刺殺してしまう。」というもの。第1幕で歌われる**「ハバネラ“恋は野の鳥”」**は昼休みのたばこ工場で、言い寄る男達には目もくれず、自分に無関心なホセに向かって歌うアリアです。

マスカーニ：歌劇“カヴァレリア・ルスティカーナ”

イタリアのマスカーニはヴェリズモ・オペラの立役者と言われ、19世紀末から20世紀前半のイタリア・オペラ界に多大な影響を与えた作曲家です。ヴェリズモとは19世紀後半にイタリア・オペラに起こった運動で、従来の神話や英雄を扱った誇張された物語ではなく、日常生活の現実的な出来事を扱う物語が好まれ浸透していきました。この曲はマスカーニが26歳の1889年に作曲され、1890年5月17日にローマで初演されました。「青年トゥリドウはローラという恋人がいましたが、兵隊に出征して帰ってくるとローラは御者アルフィオと結婚していました。腹いせにサントッツァという娘を愛しますが、心は再びローラに向かい、四人の想いの果て、アルフィオとトゥリドウの決闘となり、トゥリドウは命を落とす…」**「ママも知るとおり」**はサントッツァがトゥリドウの母ルチアに悲痛な想いを歌う有名なアリアです。

プッチーニ：歌劇“ジャンニ・スキッキ”

ヴェルディと並ぶイタリア・オペラ最高の作曲家プッチーニは、ダンテの「神曲」から着想を得て、3つの1幕物オペラを組み合わせ、対照させることを目的とした作品を書きました。第1番の「地獄編」に当たる「外套」、第2番「浄罪編」に当たる「修道女アンジェリカ」、そして第3番「天国編」に当たるのが「ジャンニ・スキッキ」です。1913年から着手、1918年に3作が完成、その年の12月に3作同時にニューヨークのメトロポリタン歌劇場で初演されました。「ジャンニ・スキッキ」は富豪の遺産をめぐる喜劇で、**「私のお父さん」**は娘のラウレッタが、父のジャンニ・スキッキに恋人への想いをせつせつと歌う名アリアです。

ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲第１番イ短調作品77

20世紀ロシア最大の作曲家ショスタコーヴィチは、ピアノ、ヴァイオリン、チェロのための協奏曲をそれぞれ2曲ずつ作曲しました。ヴァイオリン協奏曲第1番は、1947年7月に着手、1948年3月に完成しますが、当時、難解で前衛的な作品に対する批判、いわゆる共産党中央委員会書記のジュダーノフが中心となった“ジュダーノフ批判”のさなかにあったため発表を延期、初演は1955年10月29日、ダヴィッド・オイストラフのヴァイオリンとムラヴィンスキーの指揮で行われました。曲はオイストラフに献呈されています。バロック時代の形式を模範とした巧みな手法が見事な傑作です。

第１楽章　夜奏曲．モデラート　　第２楽章　スケルツォ．アレグロ
第３楽章　パッサカリア．アンダンテ ー カデンツァ　　第４楽章　ブルレスケ．アレグロ・コン・ブリオ

エルガー：ため息作品70（弦楽合奏、ハープ、オルガンのための）

近代イギリス音楽の父ともいうべき作曲家エルガーは、交響曲、エニグマ変奏曲などの管弦楽曲、チェロ協奏曲などの協奏曲の他、多くの小品を残しています。**ソスピリ**、イタリア語で**「ため息」**を意味するこの曲は最初、有名な「愛の挨拶」と対になるように構想していましたが、あまりに深い悲しみに満ちた曲になったため、今日の形に変更されました。第一次世界大戦直前の1913年に作曲、1914年8月15日にロンドンでヘンリー・ウッドの指揮で初演。曲は永年の友人であったロンドン響のコンサートマスター、ウィリアム・ヘンリー・リードに献呈されました。ため息が出るほど深く美しい名曲です。

チャイコフスキー：マンフレッド交響曲ロ短調作品58

ロシアが生んだ最も偉大な作曲家チャイコフスキーは、有名な6曲の交響曲のほかに、**「マンフレッド交響曲」**を作曲しました。これはロシア五人組のひとりバラキレフからの依頼によるもので、バイロンの書いた劇詩「マンフレッド」に基づいた標題音楽です。曲は第4番と第5番の中間時期に当たる1885年に完成。1886年3月11日にモスクワで初演され、バラキレフに献呈されました。主人公マンフレッドは人里離れたアルプスの山中に城をかまえていた中世の城主で、何の不自由もない身分でしたが、生きる事に対する疑問を持ち、虚無感にさいなまれ、無限の絶望に陥って悲劇的な生涯を終えた歴史上の実在の人物です。魅力的な旋律と劇的な展開はチャイコフスキーならではの名曲です。通常の改訂版とチャイコフスキー博物館で発見された原典版の2つの版が存在し、魂の救済を加えた改訂版に対し、原典版は第1楽章の終結部をくり返し、悲劇で終わります。今回は原典版での演奏です。

第１楽章　アルプスの山中を彷徨うマンフレッド　　第２楽章　アルプスの妖精
第３楽章　山人の生活　　第４楽章　アリマーナの地下宮殿